

●生命健康科学部 生命医科学科（高一種免（保健））

生命健康科学部は現代の疾病の発症の仕方を生命医科学的に解明することを通して、『予防』というコンセプトを共通の基盤に医療諸学科がさまざまな医学・医療に携わる人材を育成しています。看護師、保健師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、臨床工学技士と救急救命士という7種の医療系専門職を育成し、お互いの知識、技術や人間力を高め合い、チーム医療を担えるべく、教育の充実を図っています。21世紀の生命健康科学の研究を開拓できる研究者の育成も目指しています。学部所属の学生全員に豊かな人間性を涵養し、コミュニケーション能力を高めるべく、共通教養科目も積極的に学ばせています。

生命医科学科は『予防』というコンセプトのもとに、感染症の実態、感染症制御の方法を習得させるとともに、健康と環境の関連性について学ばせています。薬の作用機構や副作用についても広汎な知識を身につけさせていると同時に、創薬の基盤について学ばせています。さらに、生活習慣病の予防や骨折の予防等について勉強させています。人体の構造についても、解剖学や病理学に基づいて科学的に理解させています。このように、生命医科学科は保健に関する広い知識と技術を身につけた人材を育成しています。

教員養成においても予防に関する知識と技術に卓越した人材を育成し、また人体の構造や疾病の発症機序を科学的に理解できるように教育しております。それらを総合して、高等学校における『保健』を担当できる学生を育成することを目的としています。

● 生命健康科学部 保健看護学科（養護教諭一種免）

生命健康科学部では、21世紀型の疾病の発症のしくみを医科学的および生命科学的に解明してこれを予防し、あるいは生活・職場環境を予防健康管理の視点で保全して、保健・医療産業等での開発研究や一般企業を含む地域社会の予防健康管理を牽引する研究・技術者や臨床検査技師等の専門家および、基幹病院等における高度先進医療ならびに地域社会や家庭での看護と保健を、医師等の他の医療専門職と連携しつつも自律性をもって遂行できる看護師、保健師を育成しています。

保健看護学科では、21世紀型の新しい医療に適切に対応できる看護師や保健師の育成を目的としています。そのためには、高度医療にも地域医療にも対応できる専門性と、人間の尊厳を基盤とする倫理観、専門職としての自律性とリーダーシップおよびマネジメント能力などの基礎を修得し、さらにそれらについて、病院や保健施設、訪問看護ステーションなどでの臨地実習によって認識を深め、実践能力を高めなければなりません。

養護教諭養成としては、命の営みを科学する「医学、生命科学の学び」と、「生命の尊厳に基づいた全人的な看護の学び」を基盤として、命を護り育てる専門職としての人材育成が本学の特徴です。子どもたちが社会の中で生き生きと希望を持って生きることができるよう、そして、子どもたち一人ひとりの持つ「成長する種」が、豊かな実りに向かって育つよう、学校全体としての教育保健的活動に関与しつつ、「護り育む」ことにエネルギーを注げる養護教諭を育成します。